

独自開発システムの全国展開目指す

九州デジタルソリューションズ

徳村 昌司 社長



熊本市出身、65歳。熊本学園大学卒。
1982年肥後銀行入行、2009年世安支店
長、14年業務統括部長、17年肥銀ビジネ
ス開発(株)社長、18年肥銀オフィスビジネ
ス(株)社長を経て、25年4月1日から現職

「ICT技術を活用し、地域企業が抱える経営課題の解決に貢献したい。システム提供後の伴走支援にも力を入れていく」。DX・デジタル化支援やシステム開発を行う九州デジタルソリューションズ(株)(熊本市西区春日1丁目)の社長に4月1日付で就任した。

同社は肥後銀行グループのシステム開発会社として1988年に設立した(株)肥銀コンピュータサービスが前身。集金業務の効率化サポートを中心に事業を展開してきたが、

2021年現社名に変更後はITソリューション事業に一層注力、民間や自治体へのDX推進やコンサルティングなど業務領域を拡大している。現在約4800社の取引先を持つ。徳村社長は「最近ではDX推進を目的とした勉強会開催やサイバーセキュリティ対策に関する相談が多い」と話す。24年8月には派遣事業の許可を取得。銀行内外にエンジニアを派遣し、システムの開発・保守・運用といったサービスを提供している。内航海運業向け勤怠管理や学校向け徴収金管理といった独自のシステム開発も進める。「熊本から九州全域へ営業エリアを広げる中で、今後は全国展開を目指す」と意気込む。

近年は新卒採用にも注力。直近4年間で約80人を増やし、現在社員189人を抱えている。「地銀系のシステム会社のビジョンに共感した地元志向の学生からの応募が多い。高度な知識を持つ人材を育成し、事業拡大に弾みを付けたい」。徳村社長は力強く語った。